



令和6年8月23日

報道機関 各位

名古屋市立大学病院 病院管理部  
管理課長 徳永 智明  
電話：052-858-7104

名古屋市立大学の学生、病院職員を対象に  
子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の  
キャッチアップ集団接種を実施します

名古屋市立大学病院では、子宮頸がんに対する理解の増進、HPVワクチン接種の勧奨の一環として、愛知県医師会が行う「子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）キャンペーン」に協力し、名古屋市立大学医療系3学部・研究科（医学・薬学・看護学）の学生・大学院生及び医学部附属病院群の看護師等を対象にキャッチアップ接種を実施することになりましたので、ぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。

記

1 日 時

初回：令和6年8月28日（水）午後3時から4時

※撮影場所等につきましては担当者の指示に従っていただきますことをご了承ください。なお、接種終了後、午後4時から当院産科婦人科の担当医師がインタビュー取材をお受けします。

2 場 所

名古屋市立大学病院 病棟・中央診療棟10階 第4会議室

3 参 考（今後の接種計画）

令和6年度末でキャッチアップ接種が終了するため、3回接種を計画的に実施します。

区 分	日 程
1回目接種（今回）	① 8月28日（水）午後3時～4時 ② 8月30日（金）午後3時～4時 他に9月上中旬で複数日を設定予定
2回目接種（1回目接種から2か月後）	令和6年10月28日以降、複数日
3回目接種（2回目接種から4か月後）	令和7年2月28日以降、複数日

※「キャッチアップ接種」について

HPVワクチン接種後に報告された多様な症状等について十分に情報提供できない状況にあったことから、平成25年から令和3年まで、個別に接種を勧める取り組みが一時的に差し控えられていた。その後、令和3年11月の専門家会議で安全性について特段の懸念が認められないことが改めて確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたことから、個別の接種を勧める取り組みが再開された。そこで、平成25年から令和3年の間に定期接種の対象者（小6～高1）であった平成9年（1997年）4月2日～平成20年（2008年）4月1日生まれの女性がキャッチアップ接種（令和6年度末終了）の対象者とされている。